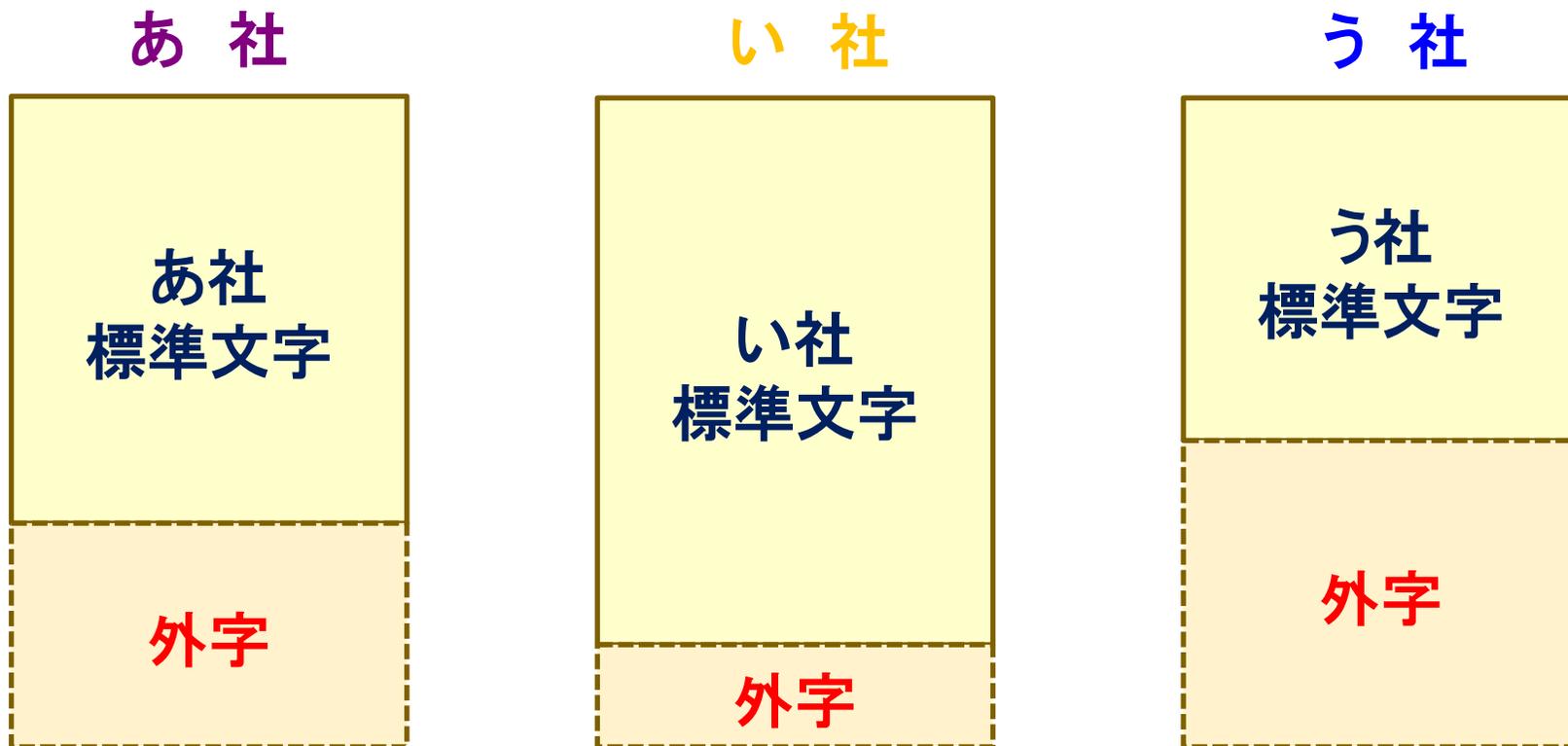


# 外字の課題と調査結果の活用について

平成24年3月15日

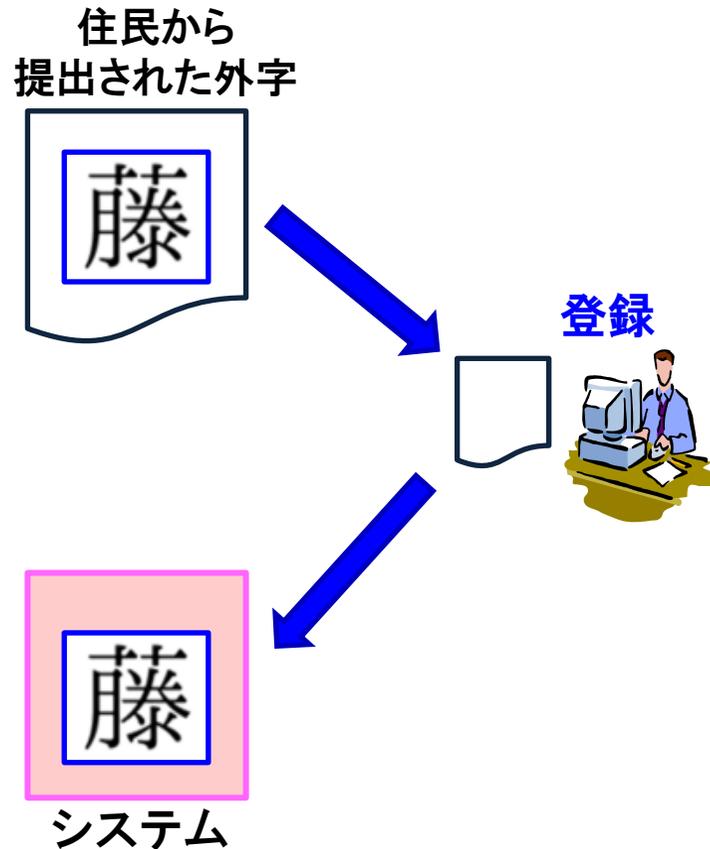
## (1) 現在の外字の定義



## (2) 外字の一般的な課題

## a 外字の新規登録

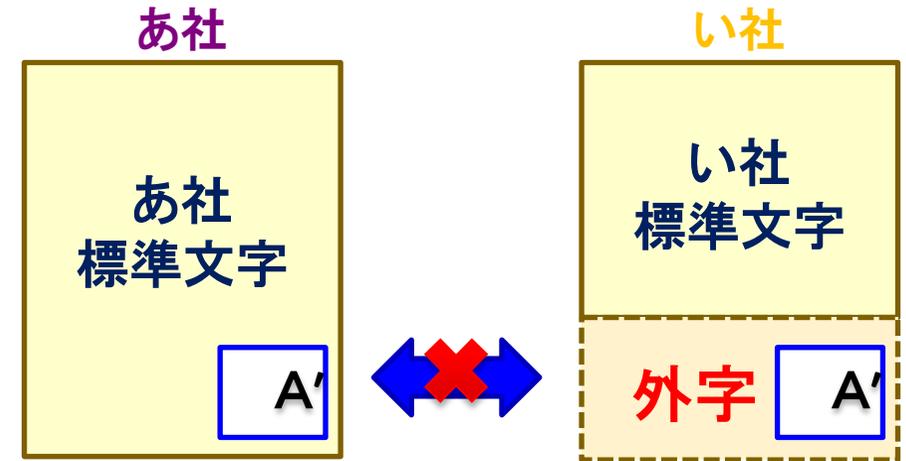
外字データ登録のため  
費用負担、作業負荷が大きい



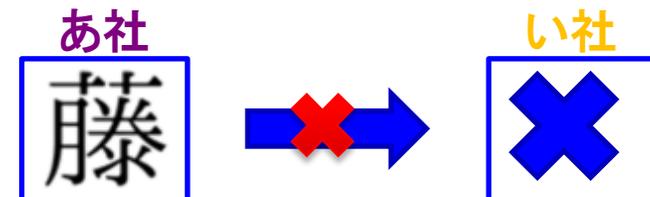
## b 外字のデータ授受

異なるベンダー間での外字データ  
の授受が困難な場合がある

## ① 標準文字・外字の差



## ② 外字データのマッピング不一致



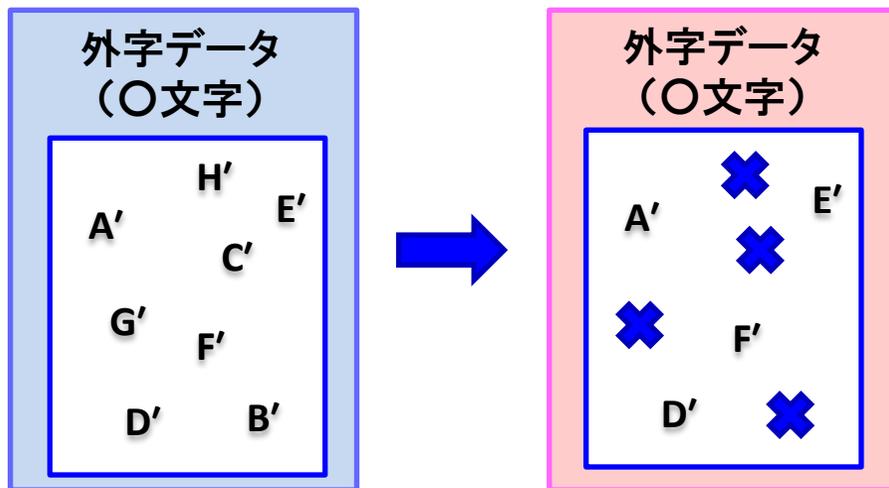
(3) システム移行時の課題

a 外字データ移行

システム間で外字データ移行が困難

既存システム  
(あ社)

クラウドシステム  
(い社)



外字データ移行時にベンダーが異なる時、イメージデータの管理方法も異なる場合がある。その際はデータ移行が不可能である

b プリンタ・大量印刷機

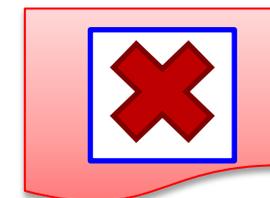
クラウド導入後、従来印刷していたプリンタ・大量印刷機で従来と同等の印字が困難

既存システム  
(あ社)

クラウドシステム  
(い社)



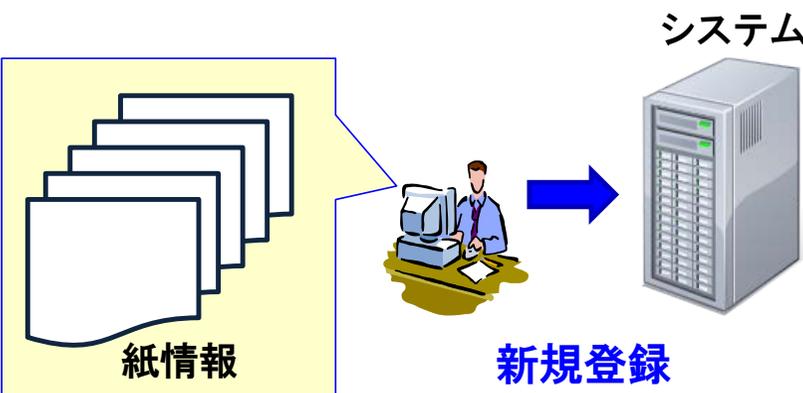
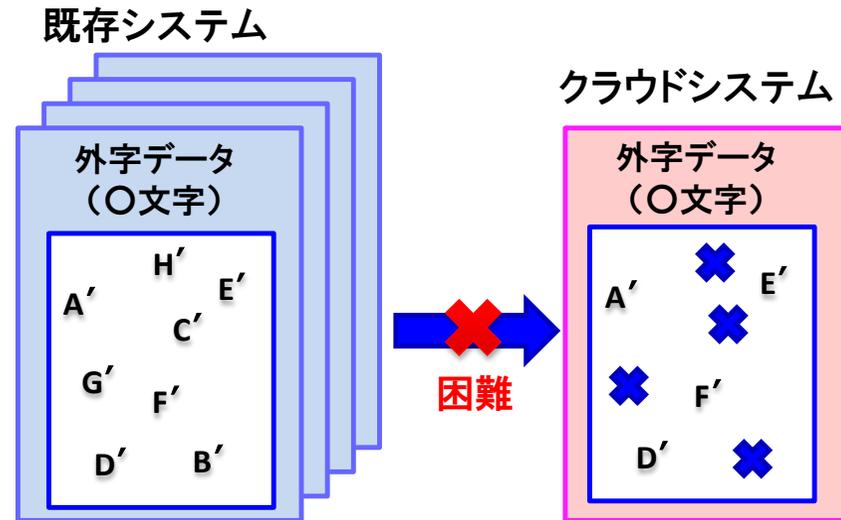
プリンタに保存した外字データの変更が困難なケース  
又は変更の際、確認が大きな負荷になるケースがある



## (1) クラウド導入における外字の課題に対する対応方法（障壁は高い）

## a 外字データ移行

外字データ移行が困難なため  
外字データの新規登録が  
必要となる（費用負担大）

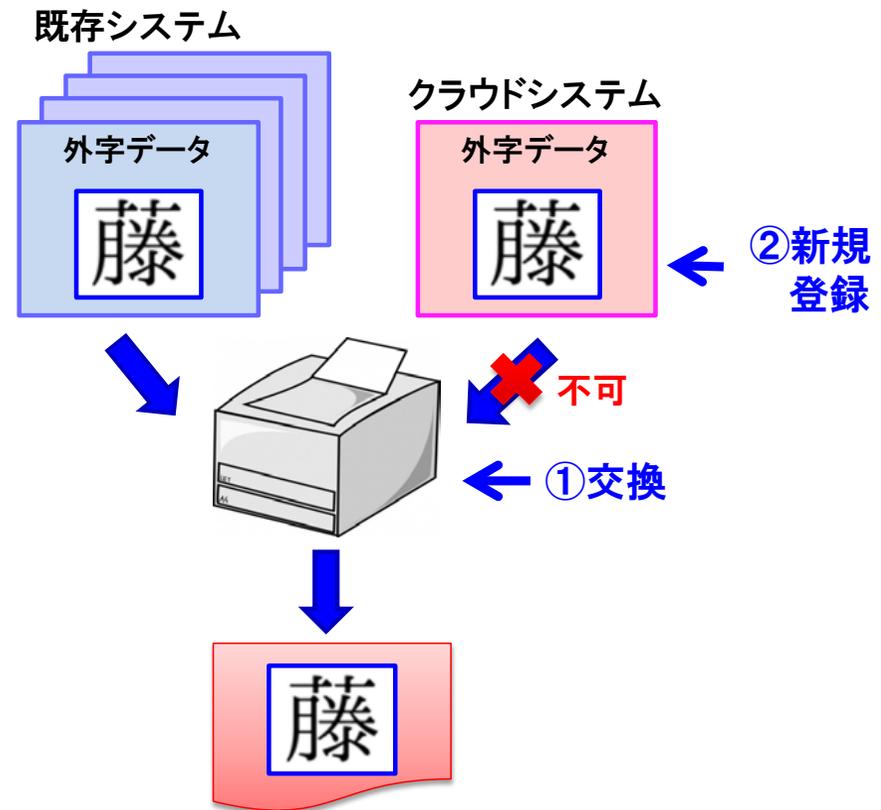


## b プリンタ・大量印刷機

プリンタ・大量印刷機がクラウドシステム  
と互換性がない時は

- ①プリンタ・印刷機を全て新しくする
- ②外字データを全て再登録する

のどちらかの方法しか既設ベンダーから  
新しいクラウドベンダーに切り替えられない



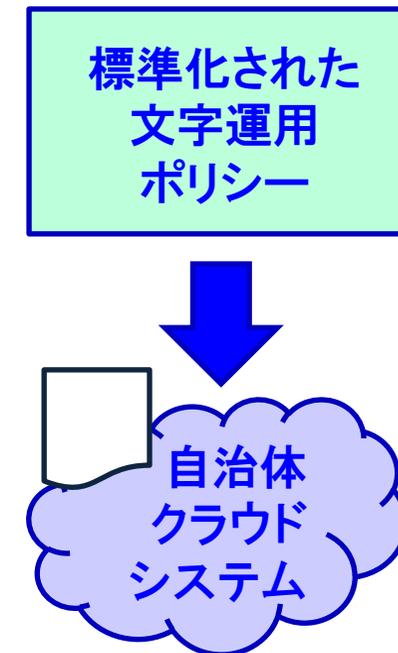
## (2) クラウドにおいても対策が必要な外字の一般的な課題と対応

## a 外字の新規登録

文字運用ポリシーの策定により  
自治体の新規外字発生を  
抑制することができる

## b 外字データ授受

自治体クラウド移行時に  
文字運用ポリシーを標準化すること  
により、外字のデータ授受を円滑に行う  
ことができる



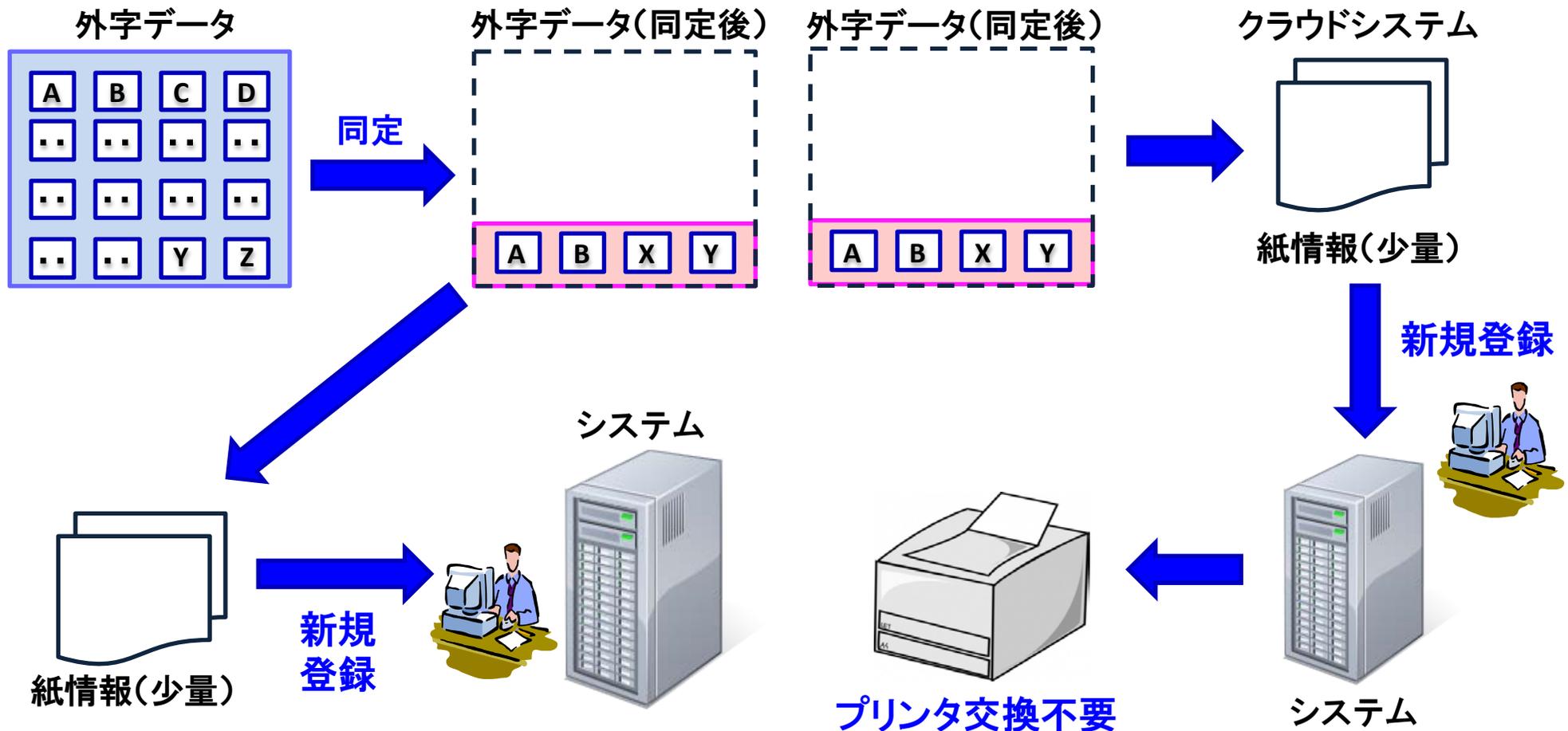
## (3) 今回の同定作業の効果

## a 外字データの移行

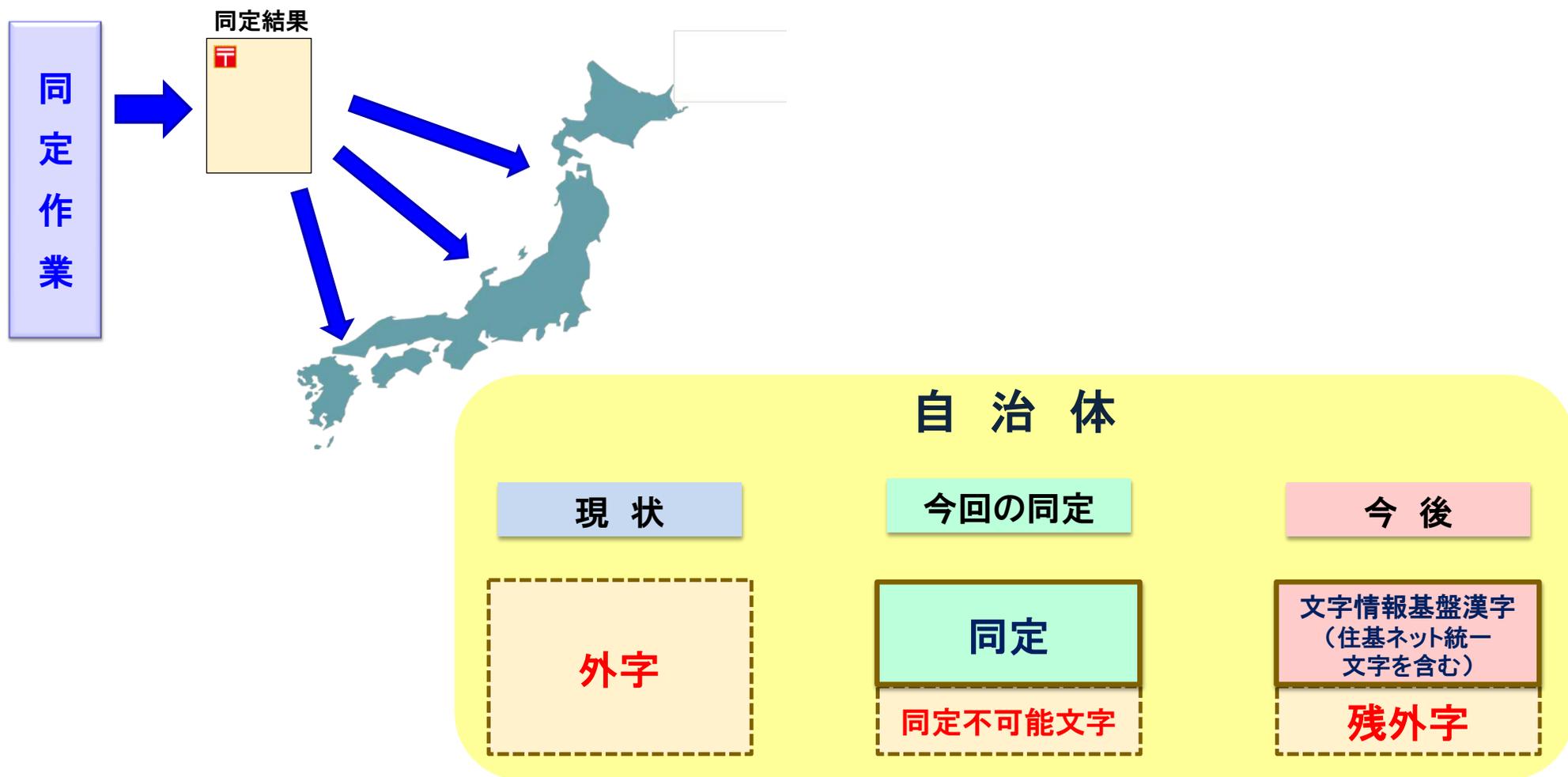
大幅に外字データの量が減り  
コスト負担が少ない

## b プリンタ・大量印刷機

新規に登録する外字データが少ないので  
障壁は小さい



## (1) 今回の同定結果の活用方法



## (2) 今後想定されるフォローアップ

- 常用漢字が変更となった場合の対応
- その他の追加変更対応